

テーマ：『 曾根干潟に棲むカブトガニやその他の稀少生物の飼育・観察・調査 』

北九州市立

曾根東小学校

Tel.

093-472-8808

担当者：

渡辺 富美子



■**実践内容**： 校区には広さ570ヘクタールに及ぶ西日本有数の曾根干潟があり、ここはカブトガニなど稀少生物の宝庫である。本校では、「環境教育カリキュラム」に沿って、豊かな自然に関わり働きかける学習を積み重ねている。特に、絶滅危惧種であるカブトガニやその他の生物を守るために児童の発案で始まった清掃活動「曾根干潟クリーン作戦」は、PTAや地域住民、漁業関係者、地元企業等を巻き込み、17年も続いている伝統行事であり、今年も実施した。

また、低学年から学校周辺のクリークに棲む生き物を調べたり、干潟に注ぎ込む川の調査を行ったりする等、体験活動を通して干潟の保全を行っている。さらに、6年間の学びの集大成として6年生が「地域環境フォーラム」を開催し、学習の成果を発表すると共に、地域の方との意見交換等を行っている。

■**実践成果**： 「曾根干潟クリーン作戦」の前には、6年児童が手作りポスターをランドセルに貼って登下校したり、JRやスーパー前でチラシを配ったりする等、地域への啓発活動を今年も行ってきた。一方、これまでの実践を引き継ぎながら、「環境教育カリキュラム」の見直しも行った。児童は、生物を守るにはゴミを拾うだけでなく、地球温暖化防止のためのCO2削減が必要であると自分たちにもできる省資源・省エネルギーにも目を向けるようになった。家庭や学校での電気使用量を調べたり、家庭で実践できるエコにも取り組んだりして、環境教育の幅が広がってきたといえる。

■**実践ポイント**： 本校環境教育の原点は校区の自然「曾根干潟」である。干潟に足を運び、肌で感じると共に、地域に生きる人の生き方や願いに直接触れる体験活動を通して、干潟の大切さに気づき、環境保全に取り組んでいこうとする実践意欲へと高め、継続していくことを心がけている。故郷を愛し環境保全が当たり前と思う大人に育てたいと思う。